

定期事業者検査時の安全管理の計画

(15/25)

| 主要工程 | | 要求内容 | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|----------|------|------|------|--------|------|--------|--------|-------|--------------------------|--|
| 項目 | 保安規定条文 | 要求モード | 関連設備 | | | | | | 機器試験 | | | | | |
| RCS 水位 | キヤヒビテイ満水 RCS 満水 ミックループ RCS 全ブロー | 1個がひに蓄養ボンベ(代替制御用空気供給用)1セットまたは可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セットが動作可能 | ・可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置1台 ・格納容器水素ガス試料冷却器1個 ・格納容器水素ガス試料湿分分離器1個 ・蓄養ボンベ(代替制御用空気供給用)10本(1セット10本(A系統5本、B系統5本)) ・可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)2台(1セット2台(A系統1台、B系統1台)) ・大容量ポンプ ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・ダブルクローリー | ・R/V開放 | 燃料取出 | 燃料貯蔵 | 起動試験 | 起動用炉点検 | 起動試験 | 起動用炉点検 | 起動用炉点検 | R/V組立 | RCS漏えい検査 △並列 △調整運転 | |
| 第90条 (表90-11-1) 水素排出 放射性物質の 濃度低減 | モード3、4、5および6 | ・アニュラス空気淨化系の1系統が動作可能(ファン手動起動・代替制御用空気淨化系に接続)・アニュラス空気淨化系に接続可能な蓄養ボンベ(代替制御用空気供給用)1セットまたは可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セットが動作可能 | ・アニュラス空気淨化ファン1台 ・アニュラス空気淨化フィルタユニット1基 ・蓄養ボンベ(代替制御用空気供給用)5本(1セット5本(A系統5本またはB系統5本)、可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セット1台(A系統1台またはB系統1台)) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・ダブルクローリー | 1次系ポンプ点検 | モード外 | モード外 | モード外 | モード外 | モード外 | モード外 | モード外 | モード外 | | |
| 第90条 (表90-12-1) 海水から使用済燃料ビットへの注水 | 使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間 | ・送水車による海水から使用済燃料ビットへの注水系2系統動作可能 | ・送水車1台×2 ・軽油ドム缶 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| 第90条 (表90-12-2) 使用済燃料ビットへのスプレイ | 使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間 | ・使用済燃料ビットへのスプレイのうち屋外に配備する設備について2系統(1系統は屋外に配備する送水車1台)が動作可能 ・使用済燃料ビットへのスプレイのうち屋内に配備する設備について1系統(1系統は屋内に配備するプレハッパ4個(1セット2個)、3号炉および4号炉共用の予備機2個を含む)が動作可能 | ・送水車1台×2 ・スプレハッパ4個 ・軽油ドム缶 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| 第90条 (表90-12-3) 使用済燃料ビットの監視 | 使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間 | ・使用済燃料ビット水位(A/M用)2個(動作可能な当該設備が所要数を満足しない場合において、可搬式使用済燃料ビット水位の所要数が動作可能である場合、運転上の制限を満足していない場合はみなさない) | ・左配監視計 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |

定期事業者検査時の安全管理の計画

定期事業者検査時の安全管理の計画

(18/25)

| 主要工程 | | RCS 水位 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------------------------|---------------|--|--|--|---------------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|---|---|
| 項目 | 保安規定条文 | 要求モード | 要求内容 | 関連設備 | | | | | | | | | | | | | |
| 第90条 (表90-15-6) 代務所内電気設備からの給電 | モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間 | | ・代務所内電気設備からの給電系が使用可能 | ・燃料油貯蔵タンク(他号炉) ・重油タンク(他号炉) ・電源車 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タクローリー | 3 | 4 | 5-1 | 5-2 | 6-1 | 6-2 | モード外 | 6-2 | 6-1 | 5-2 | 5-1 | 4 | 3 |
| 第90条 (表90-15-7) 燃料油貯蔵タンクまたは重油タンク、タクローリーによる燃料補給設備 | モード3、4、5、6および使用済燃料ビットに燃料体を貯蔵している期間 | | ・燃料油貯蔵タンクの油量、300m ³ 以上(2基分) ・重油タンクの油量、320m ³ 以上(2基分) ・タンクローリー2台(重大事故等が発生設備の運送格避歛に必要な燃料を補給できる容量を有するも0。3号炉および号炉合計) | ・代務所内電気設備分電盤1個 ・空冷式非常用発電装置 ・可搬式塗油器 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タクローリー | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 第90条 (表90-16-1) 計装設備 | | | ・プラント起動に伴う計器校正、真空ベンチングおよび原子炉格納容器漏えい率検査時に計器保護のため隔離している場合等は、動作不能にはみなさない。 ・※代務ハラメータを監視する番号は優先順位であり、代替ハラメータが複数あることを示す。 ・[]は多様性応援設備を示し、運転上の制限は適用しない。 | 代管バーマード ・左記監視設備 | ①主要ハラメータの他ループICH ②次冷却系温度(底廻)ICH ③主冷却水温度(底廻)ICH ④次冷却系温度(底廻)ICH ⑤主冷却水温度(底廻)ICH ⑥次冷却系温度(底廻)ICH ⑦主冷却水温度(底廻)ICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の圧力) | (原子炉圧力容器内の温度) | | ・原子炉圧力容器内の温度 ・次冷却系温度(底廻)ICH ・次冷却系温度(底廻)ICH ・[冷却出口温度] | ・左記監視設備 | ①主要ハラメータの他ループICH ②次冷却系温度(底廻)ICH ③主冷却水温度(底廻)ICH ④次冷却系温度(底廻)ICH ⑤主冷却水温度(底廻)ICH ⑥次冷却系温度(底廻)ICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の水位) | [加压器圧力(GPT)] | (原子炉圧力容器内の水位) | ・原子炉圧力容器内の水位 ・加压器水位ICH ・原子炉水位ICH ・[次冷却系水位] | ・左記監視設備 | ①主要ハラメータの他ループICH ②原子水位ICH ③加压器圧力ICH ④次冷却系水位ICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| モード3、4、5および6 (原子炉圧力容器内の水位) | | | | ・左記監視設備 | ①主要ハラメータの他ループICH ②原子水位ICH ③加压器圧力ICH ④次冷却系水位ICH | 左記※は、モード5および6 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |

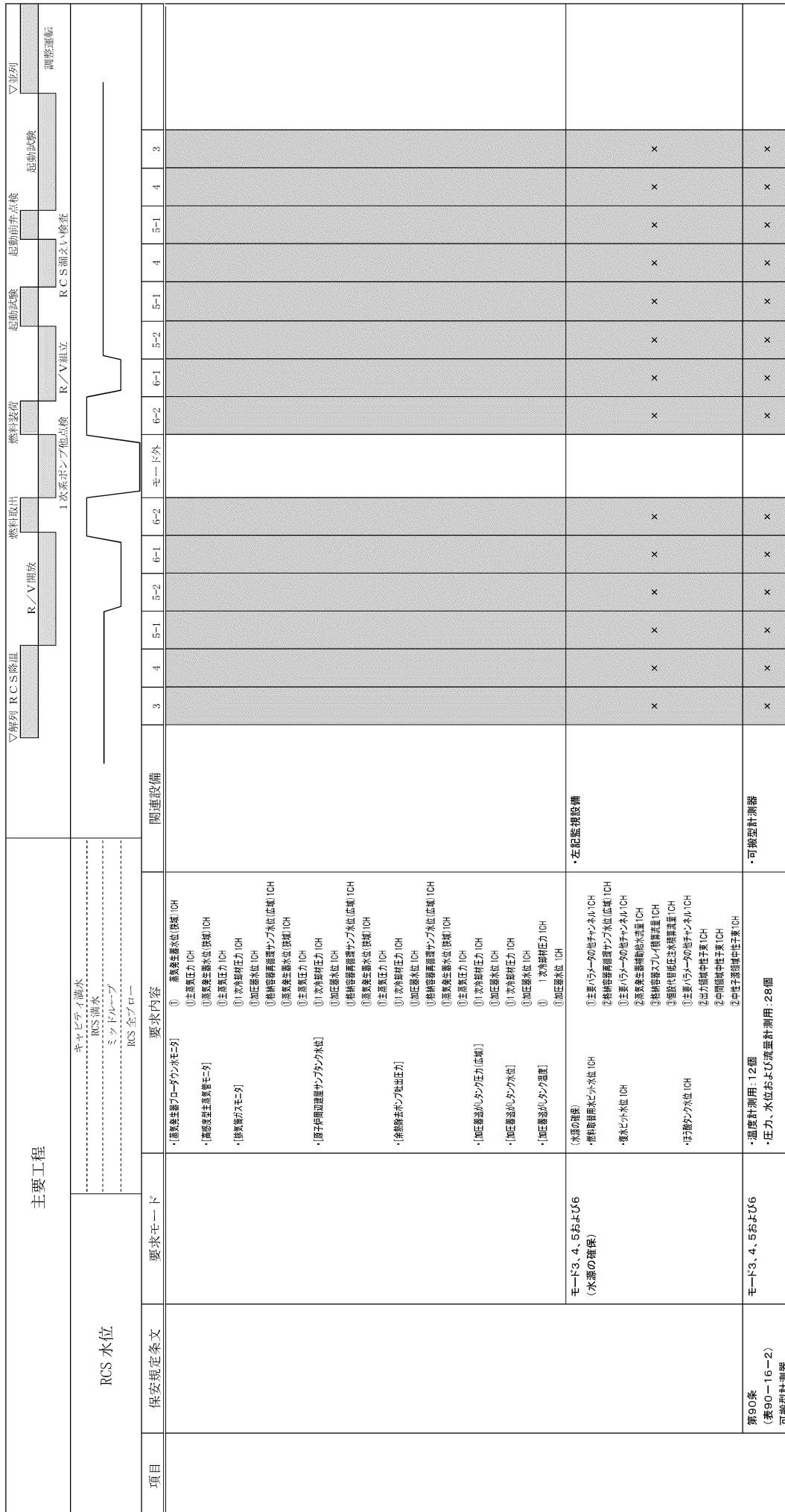
定期事業者検査時の安全管理の計画

定期事業者検査時の安全管理の計画

(2/25)

| 主要工程 | | | 燃料取出 燃料装填 自動試験 起動前点検 起動試験 起動試験 RCS 清潔いき検査 | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|----------------|---------|--|---|---|---|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|---|---|
| RCS 水位 | | | △解列 RCS 降溫 R / V開放 1 次系ポンプ他点検 R / V組立 RCS 清潔いき検査 | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 保安規定条文 | 要求モード | 要 求 内 容 | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 保安規定条文 | 要求モード | *左記監視設備 | 関連設備 | 3 | 4 | 5-1 | 5-2 | 6-1 | 6-2 | モード外 | 6-2 | 6-1 | 5-2 | 5-1 | 4 | 3 |
| モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の圧力) | 原子炉格納容器内の圧力 | ・左記監視設備 | ①主要ハラードのセシナルICH ②格納器内温度ICH ③格納器内湿度ICH | ①主要ハラードのセシナルICH ②格納器内温度ICH ③原子炉下部ヤード水位ICH ④燃料管用ヒット水位ICH ⑤燃料管用スレーベル量ICH ⑥恒温計主水素流量ICH ⑦格納器内温度サブ水位ICH ⑧燃料管用ヒット水位ICH ⑨燃料管用スレーベル量ICH ⑩恒温計主水素流量ICH ⑪燃料管用ヒット水位ICH ⑫燃料管用ヒット水位ICH ⑬燃料管用スレーベル量ICH ⑭恒温計主水素流量ICH ⑮燃料管用ヒット水位ICH ⑯燃料管用ヒット水位ICH ⑰燃料管用スレーベル量ICH ⑱恒温計主水素流量ICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の水位) | 原子炉格納容器内の水位 | ・左記監視設備 | ①主要ハラードのセシナルICH ②格納器再循環サブ水位ICH | ①主要ハラードのセシナルICH ②格納器再循環サブ水位ICH ③原子炉下部ヤード水位ICH ④燃料管用ヒット水位ICH ⑤燃料管用スレーベル量ICH ⑥恒温計主水素流量ICH ⑦格納器内温度サブ水位ICH ⑧燃料管用ヒット水位ICH ⑨燃料管用スレーベル量ICH ⑩恒温計主水素流量ICH ⑪燃料管用ヒット水位ICH ⑫燃料管用ヒット水位ICH ⑬燃料管用スレーベル量ICH ⑭恒温計主水素流量ICH ⑮燃料管用ヒット水位ICH ⑯燃料管用ヒット水位ICH ⑰燃料管用スレーベル量ICH ⑱恒温計主水素流量ICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の水素濃度) | 原子炉格納容器内の水素濃度 | ・左記監視設備 | ①主要ハラードのセシナルICH ②恒温計主水素再循環ICH ③原子炉格納容器水素性状温度ICH | ①主要ハラードのセシナルICH ②恒温計主水素再循環ICH ③原子炉下部ヤード水位ICH ④燃料管用ヒット水位ICH ⑤燃料管用スレーベル量ICH ⑥恒温計主水素流量ICH ⑦燃料管用ヒット水位ICH ⑧燃料管用ヒット水位ICH ⑨燃料管用スレーベル量ICH ⑩恒温計主水素流量ICH ⑪燃料管用ヒット水位ICH ⑫燃料管用ヒット水位ICH ⑬燃料管用スレーベル量ICH ⑭恒温計主水素流量ICH ⑮燃料管用ヒット水位ICH ⑯燃料管用ヒット水位ICH ⑰燃料管用スレーベル量ICH ⑱恒温計主水素流量ICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| モード3、4、5および6 (アニラス内の水素濃度) | アニラス内の水素濃度 | ・左記監視設備 | ①主要ハラードのセシナルICH | ①主要ハラードのセシナルICH ②格納器内ヒートシール ③格納器内ヒートシール ④格納器内ヒートシール ⑤格納器内ヒートシール ⑥格納器内ヒートシール ⑦格納器内ヒートシール ⑧格納器内ヒートシール ⑨格納器内ヒートシール ⑩格納器内ヒートシール ⑪格納器内ヒートシール ⑫格納器内ヒートシール ⑬格納器内ヒートシール ⑭格納器内ヒートシール ⑮格納器内ヒートシール ⑯格納器内ヒートシール ⑰格納器内ヒートシール ⑱格納器内ヒートシール | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| モード3、4、5および6 (原子炉格納容器内の放射線量率) | 原子炉格納容器内の放射線量率 | ・左記監視設備 | ①主要ハラードのセシナルICH ②格納器内ヒートシール ③格納器内ヒートシール ④格納器内ヒートシール ⑤格納器内ヒートシール ⑥格納器内ヒートシール ⑦格納器内ヒートシール ⑧格納器内ヒートシール ⑨格納器内ヒートシール ⑩格納器内ヒートシール ⑪格納器内ヒートシール ⑫格納器内ヒートシール ⑬格納器内ヒートシール ⑭格納器内ヒートシール ⑮格納器内ヒートシール ⑯格納器内ヒートシール ⑰格納器内ヒートシール ⑱格納器内ヒートシール | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| モード3、4、5および6 (未臨界の維持または監視) | 未臨界の維持または監視 | ・左記監視設備 | ①中間貯水性中性水ICH ②中性水清潔起動車ICH | ①中間貯水性中性水ICH ②中性水清潔起動車ICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| モード3、4、5および6 (最終シシングルの確保) | 最終シシングルの確保 | ・左記監視設備 | ② 主要ハラードのセシナルICH | ② 主要ハラードのセシナルICH | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |

定期事業者検査時の安全管理の計画



定期事業者検査時の安全管理の計画

定期事業者検査時の安全管理の計画

| 項目 | 保安規定条文 | 要求モード | 要求内容 | 関連設備 | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| | | | | 3 | 4 | 5-1 | 5-2 | 6-1 | 6-2 | モード外 | 6-2 | モード外 | 6-1 | 5-1 | 4 | 3 |
| 第90条 (表90-19-1) 緊急時対策所 代電源設備からの給電 | モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間 | ・Znシンチレーションサーべイメータ:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・燃ガーベ(メータ:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・小型船舶:1台(3号炉および4号炉の合計所要数) 〔風向、風速その他の気象条件の測定〕 ・可搬式気象観測装置:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・電源車(緊急時対策所用):2台動作可能 | ・Znシンチレーションサーべイメータ:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・燃ガーベ(メータ:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) ・小型船舶:1台(3号炉および4号炉の合計所要数) 〔風向、風速その他の気象条件の測定〕 ・可搬式気象観測装置:1個(3号炉および4号炉の合計所要数) | △並列 RCS降級 R/V開放 1次系ポンプ点検 R/V組立 RCS漏えい検査 調整運転 | 燃料取出 燃素計 起動試験 起動用炉芯檢 起動試験 RCS漏えい検査 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 |
| 第90条 (表90-19-2) 緊急時対策所 居住性の確保 | モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間 | ・緊急時対策所空気浄化系1系統(緊急時対策所非常用空気浄化ファンユニット)基動作可能 ・空気供給装置の所要数(720本:緊急時対策所非常用空気浄化ファンユニットの合計)が使用可能 ・酸素濃度計(1個):緊急時対策所あたり(1の合計)の所要数が動作可能 ・酸化炭素濃度計(1個):緊急時対策所内可搬型エリモニタ(アモニタ)の合計)および緊急時対策所外可搬型エリモニタ(1個)の所要数が動作可能 | ・緊急時対策所空気浄化系1台および緊急時対策所非常用空気浄化ファンユニット ・空気供給装置の所要数(720本:緊急時対策所あたり(1の合計)が使用可能 ・酸素濃度計(1個):緊急時対策所あたり(1の合計)の所要数が動作可能 ・酸化炭素濃度計(1個):緊急時対策所内可搬型エリモニタ(アモニタ)の合計)および緊急時対策所外可搬型エリモニタ(1個)の所要数が動作可能 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 |
| 第90条 (表90-20-1) 通信連絡 | モード3、4、5、6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間 | ・衛星電話:固定:6台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・衛星電話(携帯):1台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・ランシーバー:1台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・携行型通話装置:2台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・安全パラメータ表示システム(SPDS) ・安全パラメータ伝送システム | ・衛星電話:固定 ・衛星電話(携帯) ・衛星電話(可搬):1台(3号炉および4号炉の合計所要数) ・ランシーバー ・携行型通話装置 ・安全パラメータ表示システム(SPDS) ・安全パラメータ伝送システム | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 | △並列 RCS漏えい検査 R/V組立 調整運転 |

定期事業者検査時の安全管理の計画

| 項目 | 保安規定条文 | 要求モード | 要求内容 | 関連設備 | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--------|------------------------------------|--|------|---|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|---|---|---|
| | | | | 3 | 4 | 5-1 | 5-2 | 6-1 | 6-2 | モード外 | 6-2 | モード外 | 6-1 | 5-2 | 5-1 | 4 | 3 | |
| RCS 水位 | 主要工程 | モード3・4、5、6および使用済燃料リサイクル装置の確保している期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム(SPDS: 1系列(3号炉および4号炉)の合計所要数、余系またはB系のいずれかにより有線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※1 ・安全パラメータ伝送システム、1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、余系またはB系のいずれかにより有線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であること)※1 ・SPDS表示装置、2台(3号炉および4号炉の合計所要数)※1 <ul style="list-style-type: none"> (※1サーバー、クレード等による一時的なデータ伝送停止は、運転上の制限を満足しないとはみなさない。また、所要の確認対象パラメータを記録し、連絡する要員を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時、他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴うデータ伝送停止を含む。)は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・緊急時通信システム、1台(3号炉および4号炉の合計所要数) <ul style="list-style-type: none"> ・統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備(TV会議システム、IP電話、IP-FAX)、1系列(3号炉および4号炉の合計所要数、余系(会議室)、IP電話、IP-FAX)のいずれかにより通信可能であること) ・通信機器による通信手段を確保することを条件に行う計画的保守および機能試験による停止時(他の事業者等が所掌する設備の点検および試験に伴う停止を含む。)は、運転上の制限を満足しないとはみなさない。) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー ・電源車(緊急時対策所用) ・ブルドーザー | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 第90条 (表90-21-1) アクセスルートの確保 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|------|---------------------------|
| モード | 原子炉の運転状態 |
| 3 | 1次冷却材温度 177°C以上 |
| 4 | 1次冷却材温度 93°C以上(RCS 満水) |
| 5-1 | 1次冷却材温度 93°C以下(RCS 満水) |
| 5-2 | 1次冷却材温度 93°C以下(RCS 非満水) |
| 6-1 | 1次冷却材温度 93°C以下(キャビティ 低水位) |
| 6-2 | 1次冷却材温度 93°C以下(キャビティ 高水位) |
| モード外 | 全ての燃料が原子炉格納容器の外にある状態 |

※ 本計画は、安全確保の方法の基本方針を示すものであり、詳細については、保安規定を参照すること。また、作業工程等の変更が生じた際においても、保安規定の遵守を徹底し、安全確保に努めるものとする。